

計画第3期 小中一貫教育とCSの充実へ

小中一貫・CS 通信

NO. 41 R4. 8. 30 幕別町教育委員会 学校教育推進員

18日から2学期が始まりました。夏休み中も感染拡大が続き、十勝管内でもたびたび最多記録を更新するなど高止まりが続いています。これまでで一番大きな波となり、北海道の「BA5対策強化宣言」も今月末まで出されています。状況が収まるまでまだまだかかりそうですが、行動制限なしの状態でもここまで何とか乗り切ってきましたので、これまでの知見と経験を生かし、感染対策を十分に取りながら教育活動を進めていきたいと思います。今月は全5学園の情報と、支援員研修会についてお知らせします。

乗入授業に関わる部会など開催 7/26 さつない学園

7月26日(火)、さつない学園で2つの部会が開かれました。

まなび部小中一貫カリキュラム・学習規律部会では、学園4校の国語と算数・数学の課題を確認し、共通で取り組む内容を協議しました。国語では、「読む・書く」力を身に付けさせることを目指して、中学校国語科から2名の先生が小学校に乗入授業を行うことになりました。算数・数学では、苦手としている「割合」を指導するために、数学科の3名の先生



が比例単元の乗入授業を行う予定にしています。5年生への乗入授業の3学期実施も検討しているところです。小中一貫教育課程については、各校で「重点を置く単元」をリストアップし、「読む・書く」力に焦点化すること(国語)、割合や数量に関すること、筋道立てて考える・説明する力を育てることに焦点化すること(算数・数学)が確認されました。今年度中に、国語と算数・数学の教育課程を完成させる予定としています。

こころ部生活のきまり部会では、各校の取組みを交流し、今後も挨拶や返事、交通安全について重点として、共通に指導していくことが確認されました。

他の部会は2学期以降開催する予定となっています。(さつない学園だより第4号より)

合同研修会開催 7/21 札内東学園 (札内東学園通信第2号より転載)



7月21日(木)、札内北小学校体育館に3校の教職員が集まり、「合同研修会」を行いました。また、今回は、保護者の方にもご案内をしたところ、参加していただいた保護者の方もいらっしゃいました。

今年の研修会では音更中学校の千葉孝司教諭を講師に招き、『多様な性への学校のかかわり』という演題で講話を聞きました。性的志向や性自認に関連した差別や嫌がらせ、望まない性別で学校生活や職場で不利益を被ることである「SOGI ハラ(ソジハラ)」について、さまざまな事例を紹介してお話していただきました。LGBTや性的マイノリティという言葉も社会ではだいぶ浸透してきてはいますが、その当事者がカミングアウトできる社会になっているかというところ7割の人が否定的というように、まだまだLGBTの人たちにとって生活しやすい社会ではないことがわかりました。

千葉先生のお話の中で、「大事なのは、自分が傷つけている意図がないことではなく、相手が傷つかないこと」という言葉が印象的でした。大人や子どもも含めて、社会の中にはさまざまな志向や考えをもった人がおり、そのことをお互いに理解することが、生きやすい社会になることだと改めて考えることができました。



乗入授業、教育課程作成の見通し確認 8/3 糠内学園経営会議

8月3日(水)、糠内学園の8月定例経営会議が開かれました。各部の報告のほか、乗入授業や小中一貫教育課程作成作業のスケジュールが確認されました。乗入授業は来月の定例会議までに実施日と事前打ち合わせの日程を決めることにしています。教育課程作成では、8月8日(月)に作業マニュアル、学園課題資料についての打ち合わせ、9月12日(月)作業に関する学園全体会・教科部会をもつことにしています。11月末までに原案作成、との計画です。

学園運営協議会については、このあと10月、1月、2月の3回を予定していますが、1月は奄美大島とのオンライン交流を参観してもらった後にボランティア開催とし、予算面での工夫をするとのこと。このほか、学園評価のことや児童生徒の状況交流など、内容の濃い話し合いを行いました。計画的に事業を進める糠内学園の運営はとても参考になります。

合同研修会、児童生徒指導交流会開催 7/25 ちゅうるい学園

7月25日(月)、忠類小学校体育館で、学園指導部の企画運営による夏の合同研修会が開催されました。今回は、アレルギーをもつ児童生徒への対応について、全体で学びました。



小学校の修学旅行では、保護者と密接に連携をとって、アレルギーをもつお子さんやその保護者の方に安心していただけるよう対応していたところでしたが、改めて対応の振り返りを行うことができました。前半の全体研修のあと、後半は「児童生徒指導交流」として、担任の先生方が1学期の児童生徒の様子について交流し、情報共有を図りました。

冬には、学園研修部が主体となって合同研修会を開催します。今後も乗り入れ授業の充実等とともに、先生方の職能向上、小中教職員の交流と情報共有を目指し、小中一貫教育を推進していきます。

学園別と校種別で活発に協議 7/27 支援員研修会



7月27日(水)に特別支援教育支援員研修会が開催されました。昨年度はリモートでの開催でしたが、久々に集合型の研修会で実施しました。

前半は、臨床心理士・公認心理師でもあるスクールカウンセラーの板澤有幾さんを講師に「はたらくわたしのメンタルヘルス」と題した講演会が行われ、「自分自身について知れば知るほど生きやすくなる」「ありのままの自分を認め、信じ、愛することが、ありのままの子どもを認め、信じ、愛す

ることにつながる」「わたし”はあの子たちの環境になる」「信じてくれる大人の存在は、子どもにとって大きな糧になる」と、自分自身を丸ごと認めることの大事さを改めて強く感じさせる内容となりました。

その後の、グループ協議では、初めに学園内のメンバーによる小グループで、次に中学校で1グループ、小学校は学園を超えた小グループで話し合いました。講演の内容にかかわる話や日頃の支援に関わる話など、活発に意見交流が行われました。感想では、「子どもと接する以上、自分自身の健康が良い状態であることが大切だとわかりました。」「自分のことを好きになり、子どものお手本になれるように頑張ります。」などの声が寄せられました。

支援員さんにとって貴重な学びの場であるこの研修会は、コロナ禍で中止や規模縮小を余儀なくされていますが、来年度はぜひ例年どおりの規模と内容で実施したいものです。

学園生活部による校区内巡視 7/26 まくべつ学園

まくべつ学園では、長期休業中の子どもの見守り活動として、学園生活部の小・中教員による学園校区内の巡視活動を行っています。今年度は、7月26日(火)、幕別本町の公園、公共施設、商業施設を中心に巡視を行いました。学園の子どもたちに声を掛け、夏季休業中の生活の様子を聞いたりすることができました。

この活動は、夏季休業中の学園の子どもを安全に見守るとともに、子どもたちの危険行動の抑止にもつながる取組となっています。

乗入授業、教育課程作成計画確認 8/22 札内東学園合同部会

8月22日(月)、札内東学園の合同部会が札内北小学校を会場に開かれました。

学習指導部会では、乗入授業や中学校登校について、これまでの取組を確認し2学期以降について意見交流を行いました。また、学習常規について取組を継続することを確認し、家庭学習の手引きについて3校で統一した取組になるよう交流も行いました。



生徒指導部会では、最近の生徒指導の内容や課題、不登校児童生徒の状況や対応について交流し、さらに板書指導や上級生への言葉づかい(タメ口)についての小学校と中学校の違いについて交流しました。また、特別支援については、校内の支援体制の課題や中学校卒業後の進路について交流しました。

地域学習部会では、7月に行ったクリーン作戦の成果と課題について確認しました。学校が核となった地域との協働活動が広がりつつあることが共有されました。このほか、地域人材活用の要望リストやふるさと教育の教育課程、キャリア教育の「みらいノート(キャリア・パスポート)」の更新などについて話し合われ、今後の取組が確認されました。

部会のあと役員会も開かれました。各部からの報告と今後に向けた前向きな確認が行われ終了しました。

